

草津公民館まつり



右：実行委員会の食ハザーよく売れました
左：エディルワイスの
童謡コーラス



可愛い〜 草津児童館のフラダンス



フィナーレにアンコールが出た
草津ウクレレ教室の演奏



熱々のおいしいうどんは
縁の下力持ち、の皆さんが



女声合唱マリエンコーの美しいハーモニー



草津ごほん語教室 大変よくできました



草小の吹奏楽部の
ダイナミック演奏



熱心にスマートフォン
の使い方を習う



★第48回 恒例の草津公民館まつりが、11月8・9日（土・日）行われた。二日目は若天気が崩れたが、テント売店も軒を並べ、飲食スペースは屋内だったため影響はなかった。また3Fの舞台上では20組が日頃の練習 活躍成果を披露した。



光の城・ドリミネーション

★あつという間に師走を迎えた。今年の新語・流行語大賞は世相を端的に言い表せている。「古古古米」、「緊急銃弾/クマ被害」、「トランプ関税」他に、なんと年間大賞を憲政史上初の女性首相の「働いて働いて働いて働いて」が獲得した。ガソリンの暫定税率廃止等矢継ぎ早に取り組んでいる。物価対策頼みませ。★首相の「存立危機事態」発言で、中国があれこれこく言いばかりをつけている。国内でも「影響」を危惧する声があるが、ここで弱みを見せてはいけぬ。沖縄は中国の一部だ、古い敵国条項を持ち出して、戦争を仕掛けるとまで言い出した。

★宇国は米大統領の露国寄りの発言で、可哀そうに翻弄されている。その戦禍の宇国からきて入門2年半で大関までなった安青錦はあつぱれ！機綱になって故郷に錦を飾るか。

★広島県でも初の女性知事が誕生。カキの不漁、若者の流出など懸案課題に早急な対策を。どこかの二人の女性市長がモラル問題で辞任したが、くれぐれもご注意ください。

★楽天に行った米国帰りのマエケンに、若返りを図るカーブは獲得オファーは出さなかった。来期はSHAKARIKIに戦うそうだが、昨今年のような「家族主義」ではいけませんよ。

(写真:冬の風物詩ドリミネーション 平和大通りにて 来年1/3まで)

二つの「ふれあい」...

★草津小学校の一年生を対象に33回「ふれあいの集い」が11月21日（金）体育館で行われた。★児童88名が6組に分かれ町内会のおじいちゃん、おばあちゃん、保護者が待ち受ける。コマ、あやとり、けん玉、竹トンボなど6つのブースを順に回って一緒に楽しんだ。

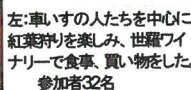


景園の紅葉狩りと世羅・ワイナリーに立ち寄りコース。★当日は秋晴れで絶好の紅葉狩り日和で、楽しい一日を過ごした。



左：幼稚園で習ったこともあり、おじいちゃんより上手だった

下：いまでは珍しいおはじ遊び 親指の使い方を教わる



左：車いすの人たちを中心に紅葉狩りを楽しみ、世羅ワイナリーで食事、買い物をした。参加者32名

★「ふれあいグループ元気な仲間たち」は11月23日（日）、「ふれあいVスハイキング」を行った。行き先は三原市本郷・三

グラウンドゴルフ大会成績表 R7.11.3草小G

男子	優勝	望月輝彦	36 (15・21)	①
	準優勝	山崎信夫	39 (21・18)	①
	第3位	本郷彰男	40 (24・16)	①
女子	優勝	和田八重子	35 (18・17)	②
	準優勝	黒石香代子	42 (20・22)	
	第3位	蘭 征子	43 (20・23)	



望月さん



和田さん



▼11月3日月曜さわやか倶楽部・東体育館主催のグラウンドゴルフ大会が行われ、好プレー、ホールインワンなど歓声が上がった。○内ホールインワン数

ディスクドッチ 春・秋連続優勝だ！

11月16日（日）西区スポーツセンターであったディスクドッチ交流会で、草津学区Bチームは、春大会に引き続き優勝を果たしました。僕は今年大会も外野からの攻撃という重要なポジションでした。僕は6年生なので、選手として参加するのは最後の大会でしたが、これからもOBとして練習に参加したいです。

草津東三丁目 草小6年生 藤永広武



ディスクドッチ交流会で、春に続き優勝した草津学区Bチームのメンバー。○内は藤永君

12月行事予定

- ◎5日（金）町常任委員会 19時半
- ◎7日（日）町内一斉清掃
- ◎7日（日）東子ども会・クリスマス会 草津東集会所 13時半
- ◎18日（木）おおいにカフェいむわい 10時
- ◎20日（土）学区子ども会・クリスマス会

- ★元旦（水祝）鷲森神社 歳旦祭 9時
- ★1月12日（月・祝）弁天さん どんど 10時
- 有価資源収集日：10日（水）・24日（水）

『紙門松』の配布

▼例年通り「紙門松」を12月中旬までに各戸に2枚あて配布します。 草津東町内会

連絡市・ゴミ収集枠→取り換え可

▼5年以上経過し、修理ができず老朽化した市貸与の「ゴミ収集枠」を再品と取り替えることができます。組・区長または副会長へご連絡を。

神宮大麻・氏神々札

▼ご希望の方は、直接「草津八幡宮」へ参拝されお受け取り下さい。▼従来通り頒布袋をご希望の方は、下記へご連絡ください。 082-274-5432 倉田まで

この人を訪ねて#247

草津の街に女性起業家現わる

株式会社 ハーストリープラス 代表取締役

佐藤 緑(さとう みどり)さん

女性の人生にプラスな提案をする企画会社が、草津の古民家に本社を置き活動している。主婦目線、子育て目線のネットワークを活用し、事業は食材店、塾弁当を中心とした飲食部門、市場調査、商品企画やイベントを行う企画部門。さらに古民家を利用した民泊も手掛けている。これらすべて女性スタッフでこなす。

草津の古民家、ウナギの養殖

この草津の古民家は、西国街道(旧国道)草津・御幸橋を南に下り、宮島街道手前である。以前の持ち主は駄菓子屋をいとなんでいた。井桁格子の古い民家である。この一帯の古い民家(かなり立て替えられなくなった)は、間口が狭く中庭があり、奥に長い谷間にウナギの養殖に造られている。(住所:広島市西区草津南2丁目8-6)

地権者は取り壊す予定だったが、大事に使用する約束でひろしま大学(所属の若い建築士が外観はかわらずリフォームし居住していた。その後、ひろしま大学が合宿、サロンやゲストハウスとして約8年間使用するも、今年1月末に移転することになり、習月より佐藤 緑さんが主宰する(株)ハーストリープラスが、本社事務所として使用している。

広島で新会社を再設立

2009年(平成22年)、佐藤さん50歳の時「東京の事業をさらに強化することになったが、自身は広島に残りの地域と深くつながるために、また店づくりを核にしたコミュニティの形成、街に賑わいをもたらす仕掛けや女性の思いを反映した商品づくりを目的にハーストリーから独立し、(株)ハーストリープラス(以下ハーストプラス)を設立した」暮らしの基となるモノトの多くに女性の視点が大切で、『主婦目線』『子育て目線』を活用したいと考えた。

社名は「女性の人生にプラスな提案を」から

「社名の由来は、女性の人生や生き方を応援するT.S.O.S.に由来したもので、T.S.O.S.のS.O.S.は生にD.O.S.有難、利益などを提案することから名付けた」と佐藤さんは説明する。業種分類では、複合サービス業である。

お弁当販売と食材ショップ「ハーストリーハウスデリカキッチン」をオープン

飲食部門では一つのお店と弁当の製造をわけている。西区田方にお弁当製造販売を主とする「ハーストリーハウスデリカキッチン」を運営する。この場所から広島市を中心に、小学校や幼稚園など多くの子どもたちのお昼ごはん「食育弁当」を届けている。

廿日市市宮島口では、オーガニックドリンクバーを主にした食材とドリンクの提供をし、観光客やインパウンドのお客様が立ち寄る店となっている。両店ともに安心安全な食品を提供している。

塾生向けの「塾弁当」を調理、配達

カフェと食材店が共同で、母親目線で工夫した「塾弁当」を作り、広島市内数か所の教室を持つ学習塾に



佐藤 緑 (さとう みどり)

(株)ハーストリープラス:広島市西区草津南2-8-6

廿日市市宮島口在住 広島デザイン学園卒 舞台美術製作会社を経てイラストレーター '90年知人とマーケティング&コンサル事業のハーストリーを起業 '09年11月独立しハーストリープラスを設立 趣味:映画鑑賞、カフェ、雑貨店巡り

届けている。塾に通う受験生が通う時間が長くなる小学4~6年生には食事時間をきめて短い休憩時間しかない。自前の弁当を持参するが、共働きの家庭が増え弁当を作るのが難しく、成長期の子どもの「コンビニやファーストフードを利用する」には問題がある。ハーストプラスが作る塾弁当メニューは、こんな形式の「のっけデリカ」、一汁二菜の「応援デリカ弁当」弁当旬の果物セット「賢治デリカ弁当」などで、いずれも温かい味噌汁が付く。多く食べてしまつて眠気を催すため、量は少なめにしているという。管理栄養士と



スタッフと打合せ中の佐藤さん(右) 2009/11/11に(株)ハーストリープラスは創立した。奇しくもこのインタビューは創立記念日の翌日だった。毎年この11月が「節目、だとのべる。



土日はレンタルルームになる部屋



古民家 9月末のお祭りの日着付けと造形教室のレンタルルームに貸出した



古民家の中庭



西区田方・HSP デリカキッチン



女性ばかりのスタッフの皆さん O内佐藤さん

塾側の食育インストラクターが共同で、メニューを考え、調理と配達まで女性スタッフがかかわっている。また、さらさらの幼稚園児向け食育弁当作りにも携わっている。「好き嫌いがなくなるように」と願いをこめレシピにも工夫を凝らす。主婦シエが作る弁当に「完食する子どもたちが増えた」と評判も上々だそう。

企画部門 マーケティングや店舗立ち上げ多岐に企画部門の事業は多岐にわたる。企業や自治体から依頼のマーケティング、商品企画・開発、店舗立ち上げイベントの企画・プロデュース、広告宣伝などを手掛ける。また自社企画では地域と交流するイベントなどを開催している。

トークショーやセミナーで「何かしたい」女性の背中を押す

過去の委託事業では、店づくりを目指す創業支援「フタシの店づくり物語」と題したイベントを行い、店舗のオーナーのトークショーや店巡りツアー、起業者のセミナーを行ったり、また再就職して働きたい女性の後押しにと、仕事と子育ての両立を考え、企業と一緒に考える働く女性の悩み相談会などを行った。働きたい、自分の店を持ちたいと考えている女性がたくさんいることに佐藤さんは手応えを感じたという。

多数の新しいビジネスを立ち上げる

現在は女性の社会進出が増えて動きやすい時代になってきた。主婦にできることは何か、空いた時間に何かしたいと思う主婦たちをネットワークでつないで、多くの人材と出会うことができた。「一人ひとりは弱いが集まればパワーになる」が口癖言葉になったという。

事業を始めてから佐藤さんともに動き、関わった女性のなかから、その起業精神を受け継ぎ、今では十数人が新しいビジネスを立ち上げ店を開いたりしている。

民泊やレンタルルームも

ハーストプラスの事業は、前述の西区田方にある「ハーストリーハウスデリカキッチン」、廿日市市・宮島口にあるオーガニックドリンクバー「みやじまぐちフロア」の運営とともに、草津の街の魅力や古民家の活用ができる新たな取り組みを始めた。事務所である古民家を「日和」と名付けて週末は民泊やレンタルルームとして活用する。観光で訪れる方々や自分の特技を生かして教室を開きたい人などに使ってもらいたいと願っている。

失礼ながら一見、佐藤さんは普通の女性に見えたのに、静かな物言いやお話し内容からして、どこに企画、行動力がありなのかバイタリティにびっくりしました。これからは地域はもとより、世の隠れた女性のパワーを引き出し、輝かせていきたい。【編集 倉田和峰】